

千葉大学医学部附属病院で ANCA 関連血管炎（顕微鏡的多発血管炎または多発血管炎性肉芽腫症）の治療を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026 年 4 月 1 日

アレルギー・膠原病内科

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科では、「ANCA 関連血管炎の治療戦略の年代別変遷と予後との関連」を行っております。今後の治療に役立てることを目的に下記に該当する ANCA 関連血管炎であった方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2000 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、千葉大学医学部附属病院において ANCA 関連血管炎（顕微鏡的多発血管炎または多発血管炎性肉芽腫症）と診断され、診療を受けられた方

※好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と診断された方は本文書の対象外です。

1. 研究課題名

「 ANCA 関連血管炎の治療戦略の年代別変遷と予後との関連 」

2. 研究期間

2026 年承認日～2029 年 3 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

ANCA 関連血管炎は、全身の微細な血管に炎症が生じることで、様々な臓器に障害を引き起こす疾患であり、顕微鏡的多発血管炎や多発血管炎性肉芽腫症などが含まれます。

近年の研究の進歩により、ANCA 関連血管炎の治療法はこの数十年で大きく変化しました。現在行われている治療法は、良好な治療効果を保ちつつ以前よりもさらに安全性が高いものであると考えられています。しかし、これは臨床試験という限られた条件下で実施された研究から得られた結果によるものであり、実際の診療における ANCA 関連血管

炎の患者さんの治療経過がどの程度改善しているのかについては、まだ明らかになっていません。

本研究は、治療法の変化が、実際に診療を受けている患者さんにとってより良い治療効果をもたらしているのかについて検討することを目的としています。そのために、当院で治療を受けた ANCA 関連血管炎の方を対象に、過去の診療録に記載されている情報や検査の結果等を収集し、解析することを予定しています。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている生年月、年齢、性別、診断名、既往歴、症状、血液検査や画像検査の結果、治療経過、治療薬の種類や治療を受けた日付、など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：アレルギー・膠原病内科 特任准教授 古田 俊介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページのホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

アレルギー・膠原病内科 医員 上野達矢

043（222）7171 内戦5531

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。